

入試日程

博士前期課程入学試験では、各専攻各講座の研究深化プログラムと高度人材育成プログラムのいずれかに出願し、選考が行われます。

博士前期課程では、8月と2月に学生募集を実施しており、募集説明会も2回実施しています。入試区分は、一般入試、留学生特別入試、社会人特別入試、職業人特別入試があります。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、過去の入試問題、入学試験情報等を掲載しています。

博士後期課程では、2月に学生募集（進学者を含む）を実施しています。

社会文化科学研究科ホームページには、入試日程、募集要項、入学試験情報等を掲載しています。
(URL <http://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/> “入試情報”をクリックしてください)

本学と協定を締結している海外の大学を卒業（見込みを含む）した留学生を対象に、外国人留学生海外特別入試を博士前期課程及び博士後期課程で実施しています。

Access



岡山空港から

- 岡山空港2番のりばから岡電バス・中鉄バス「岡山駅西口」行きに乗車、「岡山駅」で下車、その後は岡山駅からの各種交通機関を利用願います。

JR岡山駅よりバスを利用する場合

- 岡山駅（西口広場）で岡電バス「47」系統「岡山理科大学行」に乗車し、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで約2分
- 岡山駅（東口）で岡電バス「17」系統「妙善寺・岡山大学行」に乗車し、バス停「岡大西門」で下車し、徒歩で西門まで約2分
- 岡山駅（東口）で岡電バス「76」系統「津高営業所行」に乗車し、バス停「岡山大学筋」で下車し、徒歩で西門まで約9分

※ JR法界院駅（津山線）からも上記のバス線には乗車できます。（バス停「法界院駅前」乗車）

岡山大学



大学院社会文化科学研究科

OKAYAMA UNIVERSITY
GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES

● 博士前期課程

- ・国際社会専攻
- ・日本・アジア文化専攻
- ・人間社会文化専攻
- ・法政理論専攻
- ・経済理論・政策専攻
- ・組織経営専攻

● 博士後期課程

- ・社会文化学専攻

OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



岡山大学 大学院社会文化科学研究科

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学 大学院社会文化科学研究科 教務学生担当

Tel. 086-251-7357,7362

E-mail ggg7372@adm.okayama-u.ac.jp

編集：岡山大学 大学院社会文化科学研究科

<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hss/>

岡大 社会文化科学

検索



2018年度 大学院案内

ご挨拶



岡山大学大学院社会文化科学研究科は、文学部、法学部、経済学部の3つの学部を基盤とする学際型・融合型の大学院です。高度な専門教育を受けて修士の学位を取得する「博士前期課程」と、さらに各専門分野において深く学問に親しみながら最先端の成果を生みだして、博士の学位取得を目指す「博士後期課程」を設置しています。

西日本における学術研究の中核拠点の1つとして国際水準の研究・教育を行い、高度な専門性と幅広い視野および豊かな人間性を備えた有為な人材を育成することを目指しています。そして地域の行政や企業をはじめとする様々な主体と深く結びつくとともに、地域の文化・社会・経済にも大学院として貢献したいと願っています。

国際交流に熱心に取り組んでいることも、特徴として挙げられます。研究科附置施設として「東アジア国際協力・教育研究センター」を持ち、積極的に教育研究の国際化を進めています。国際交流協定に基づく留学交流を行い、外国の大学と岡山大学と両方の学位が取得できる双方向学位制度も導入しています。

実際に学んでいる人たちをみると、多様性の高さが印象的です。まず、社会人・職業人が多く在籍しています。この意味で本研究科において、学びはまさに一生のものとなっています。それから近年は留学生の数が増えており、平成28年度入学者では5割に達しました。国際化の流れの中で、ますます学びに国境はなくなっていくでしょう。

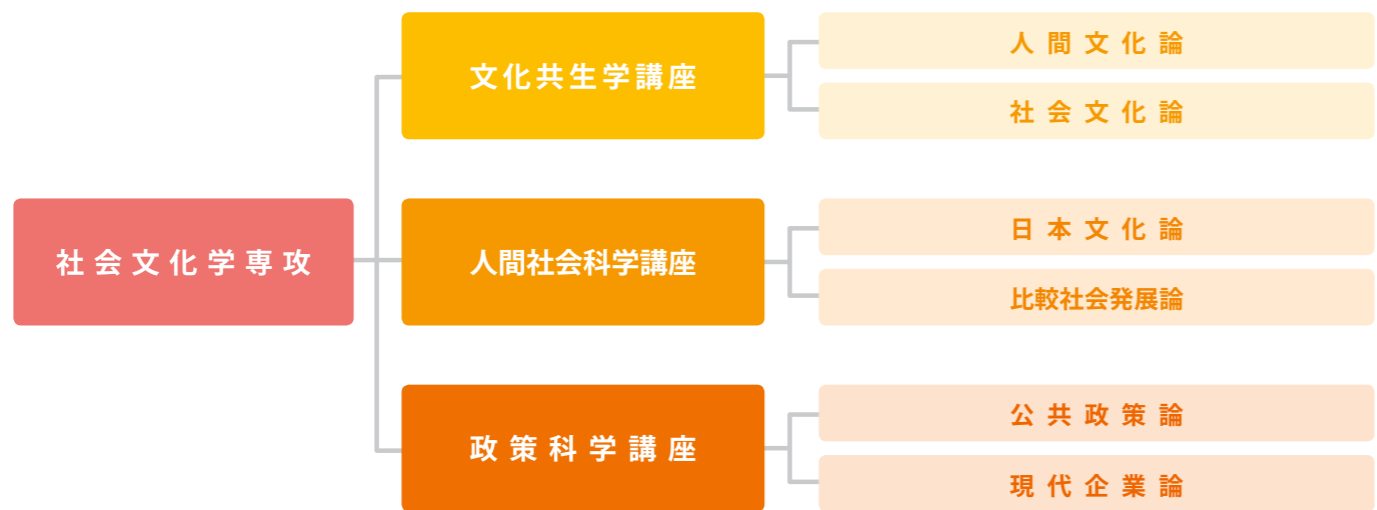
年代も出身地域も経験も様々な方々と一緒に、思う存分学問に取り組むことは、何にも代え難い貴重な体験になります。社会は変化の速度を速めており、少し前には予想もしなかった変化が起きていくでしょう。多くの人々と手を携えて、知恵を束ね、新しい世界に創造的に関わっていきましょう。

本研究科での経験が、その歩みを確かなものにしていくと信じています。

大学院社会文化科学研究科長 田中 共子

博士後期課程

本研究科博士後期課程は、「社会文化学専攻」の1専攻からなり、「文化共生学講座」、「人間社会科学講座」、「政策科学講座」の3講座で構成されています。そして、3講座のもとに、6教育・研究分野（人間文化論、社会文化論、日本文化論、比較社会発展論、公共政策論、現代企業論）を置いています。



博士前期課程

本研究科博士前期課程には、国際社会専攻、日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、法政理論専攻、経済理論・政策専攻、組織経営専攻の6専攻があり、人文社会科学系のほとんどの学問領域を網羅しています。

博士前期課程では、本研究科で学ぶことに興味をもつ方々の多様な希望に応じて柔軟な学修を可能にするため、目的に応じた履修の方法と修了要件を定める2つのプログラムを設置しています。

研究深化プログラムは、専門分野に係る高度な知識・能力と技術・判断力の修得を目指す学生や、博士後期課程へ進学し、博士の学位取得を最終目標とする学生向けのプログラムです。主として、教員や研究者等を養成することを目的とします。

高度人材育成プログラムは、職業等に活かせる専門的な知識の修得を目指す学生や、日本語及び日本社会を始めとする多方面の

知見の修得を目指す外国人学生向けのプログラムです。主として、高度な専門能力をもった職業人を養成することを目的とします。

その一つである英語プログラムは、英語で行われる授業のみによって課程修了が可能な教育プログラムで、英語で行われる授業を専攻を超えて履修する形式をとります。高度な英語の運用能力と学際的なレベルでの多様な知識を運用することができる人間の育成を目的とします。

また、地域公共政策プログラムでは、地域社会で政策形成を担う公務員・企業人・NPO職員等を養成するとともに、中四国地域の地方自治体職員、地方議会議員等の実務家に対して政策人としてのスキルアップを図るためのリカレント教育を行います。

※平成30年4月入学入試（2月募集）から、一部については、願書提出の際に、外部検定試験等の成績表の提出が必要となります。詳細は募集要項をご覧ください。

